

第13回 # オンラインdeサロン

会場：WEB会議Zoom

(お申し込み後、招待URLをお知らせします)

定員：なし(入退場自由)

内容：ゲストのお話、参加者との交流会

参加費：無料

2022年 **12月14日(水)**

13:30~14:30

アジア時代を生き抜く

**中国進出していない企業にも
伝えたい内容**

202x年、中国・アジア勢は日本を席卷する

コロナ以降、良くも悪くも、中国の動向は日本経済・日本の企業に巨大な影響を与えています。中国関連のニュースが紙面に載らない日はありません。2028年には中国の名目GDPが米国を抜き、2035年には香港を含む中国のGDPが米国と日本を合わせたより大きくなると予測されています。

重要なのは、対日投資・事業進出・業界規格の主導などにより、その影響力が海外や中国とは無関係な中堅中小企業にまで及ぶようになっていく点です。むしろ、グローバル展開している企業より、海外勢のやり方に免疫のない企業こそ中国勢・アジア勢のことを知り、備えておく必要があると言えます。

今回は、中国の最前線で日系企業の「駆け込み寺」として進出・紛争・撤退に関わるトラブル・課題を解決してきた立場から、コロナ後の現地の様子、今後の予測、中国と縁のない企業が知っておくべきポイントなどを考えてみたいと思います。



第13回ゲスト

Dao and Crew Ltd.

(Japan/Shanghai/Tianjin)

代表取締役・船長 **小島 庄司 氏**

聞き役

ARECセンター長・専務理事 岡田基幸

- ゼロコロナ下の中国と中国ビジネスの今後
- 中国業者と付き合う際の注意
(トラブル例・不正例)
- 中国と無関係な企業にとっての盲点
- 海外人材の活用における
日本企業の課題・改善点

講師略歴

コクヨ、UFJ総研を経て、合併会社の経営を託されて2004年に中国へ。あと半年で資金が尽きるという極限状況から、資金繰り、解雇、仕事の落ち穂拾いを続けて再生を果たし、中国の流儀と経営の基礎を学んだ。

2012年に事業を承継して小島(天津)企業管理咨询有限公司(Dao and Crew)を設立。現地日系企業の経営リスク・課題の解決を重ねるうち、「野戦病院」「駆け込み寺」と呼ばれるように。撤退・合併解消・現地幹部の解雇・リストラなど日本側の決裁案件が増えたため2017年に日本法人を設立。日本では「和魂洋才垂力の経営」を掲げ、中小企業の新しい日本的経営づくりに取り組んでいる。著書に『中国駐在ハック』(日経BP、2020年)、『TSR情報』でコラム連載中。

東京商工会議所国際経済委員会委員(2020~2022)、刈谷ものづくり大学教授、神戸市海外ビジネスアドバイザー。中小企業診断士。1973年 愛知県生まれ。神戸大学法学部卒。

お申込み：申込フォーム 又は 下記のホームページよりお申込みください。
<https://forms.gle/xemBqtBSGz5e2wYK7>



お問合せ：東信州次世代イノベーションセンター

一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)事務局

Tel 0268-21-4377 / Fax 0268-21-4382 Mail mousikomi@arecplaza.jp